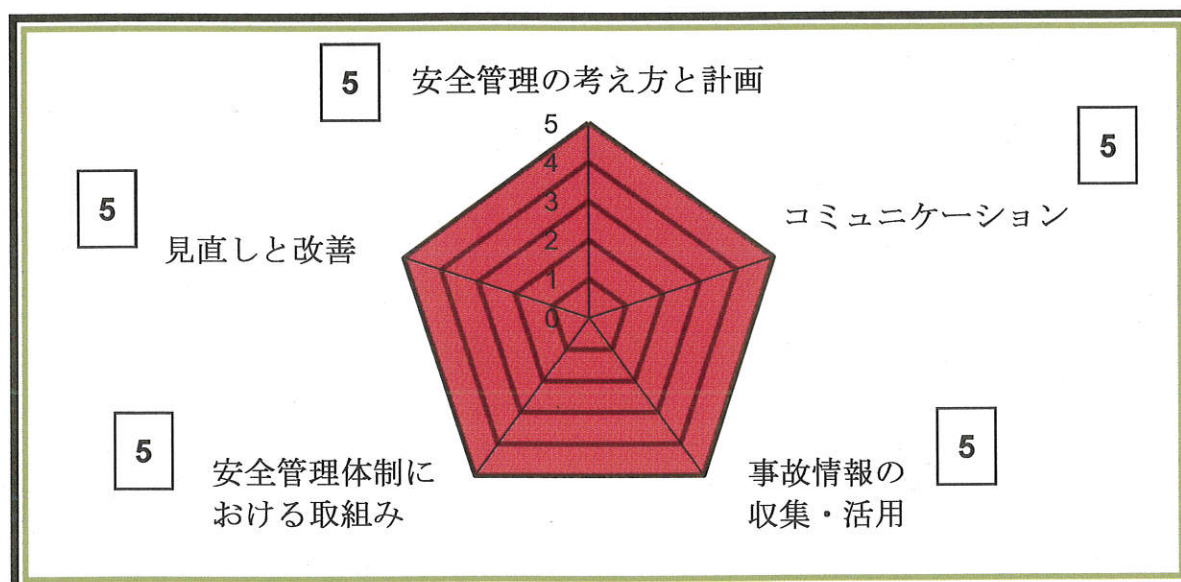


運輸安全マネジメント評価報告書（第 1 回）

事業者名称： 小豆島交通株式会社	評価実施場所： 四国運輸局 第 3 会議室（1 階） 香川県高松市松島町一丁目 17 番 33 号
代表者氏名： 代表取締役社長 中村 彰紀	評価チームリーダー： 四国運輸局自動車監査官 増田 輝彦

総評：（詳細項目は別添参照）



御社における現在の安全管理体制の構築、維持及び改善に関する取組状況（上記 5 項目）は、自己チェックシート及びインタビューからレーダーチャート（上図）に 6 段階で記載しました。今後、御社の取組みが優れている項目は充実・強化を図られ、取組みに工夫の余地がある項目は見直し・改善を図られることを期待します。

また、安全文化の構築と定着を図り、安全性を段階的に向上させるためには安全管理体制の継続的な改善及び不断の取組みが不可欠であることから、引き続き、経営トップが主体的にかつ積極的に関与して頂くことが重要であり、次ページ以降の項目別評価結果一覧を参考にして更なる取組みを講じられることを期待します。

署名：評価チームリーダー（四国運輸局自動車監査官）

増田 輝彦

備
考

項目別評価結果一覧

評価の項目	評 価 結 果
経営トップの安全に関する考え方	経営トップは、安全確保のために積極的に関与し、リーダーシップを発揮されていることを評価します。今後も引き続き積極的なリーダーシップを発揮されることを期待します。
1. 安全管理の考えと計画	<p>(1) 原則、方針、具体的な目標、取組計画 安全最優先の原則及び安全方針が作成され、社内への周知もされています。また、具体的な目標、取組計画も作成されていますので評価します。今後は、例えば、事故情報を分析した結果を具体的な目標に反映させる等することで、取組みを継続・強化されることを期待します。</p> <p>(2) 安全統括管理者 安全統括管理者は、安全確保に向けて積極的に取り組まれていることを評価します。</p> <p>(3) 人員、設備 安全を確保するために必要な人員の採用、配置及び設備の更新・整備などの強化が図られていることを評価します。</p>
2. コミュニケーション	<p>(1) 現場との情報伝達の仕組み、ボトムアップ、横断的な共有 現場社員（運転者等）からの意見・要望を収集されるなどの環境整備を図られ、輸送の安全確保に係る的確な情報伝達及び縦断的かつ横断的なコミュニケーションを確保されるとともに、更なるコミュニケーションの活性化に向け、見直し・改善が図られているので評価します。今後も継続・強化されることを期待します。</p> <p>(2) 安全啓発 乗客に対する安全啓発（車内アナウンス等）を実施されていることを評価します。今後も更なる安全の確保のため取組みの充実・強化が図られることを期待します。</p>
3. 事故等情報の収集・活用	<p>(1) 事故及びヒヤリ・ハット情報 【事故情報】 事故発生時の対応手順や連絡方法を定められ、事故、トラブルの発生状況等の傾向を把握されるとともに、有効な再発防止対策を策定されているので評価します。 一方で、事故情報の<u>分類・整理</u>、<u>分析</u>の取組みに改善の余地があることも確認できました。 今後は、事故の発生状況等の傾向把握、有効な再発防止策の策定・実</p>

項目別評価結果一覧

評価の項目	評 価 結 果
	<p>施をより強化するために、例えば、国土交通省大臣官房運輸安全管理官室発行の「事故、ヒヤリ・ハット情報の収集・活用の進め方」を参考にすると共に、以下の取組みを推奨するなどして、取組みの充実・強化を図られることを期待します。</p> <p>① 事故の明確な定義付け</p> <p>② 事故の関連性や特異性の把握等を行うため、下記事項の分類・整理や傾向の把握 <i>ヒヤリハット情報を新添に。</i></p> <p>(1). 分類・整理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事故の相手（車両、人、構造物等） ・ 事故の原因（前方不注意、速度超過等） ・ 曜日、天候別、時間帯別事故発生状況 等 <p>(2). 傾向の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事故の種別（人身、追突、衝突、接触、飛び石、その他） ・ 事故の原因（前方不注意、速度超過等） ・ 発生時刻 ・ 運転者年齢別 ・ 運転経験年数 ・ 休日から事故までの日数 ・ 健康状態 等 <p>③ 「<u>なぜなぜ分析</u>」等の分析手法を用いた根本的な原因分析 <i>傾向をもとに分析して原因を!</i></p> <p>【ヒヤリ・ハット情報】</p> <p>ヒヤリ・ハット情報を収集し、その情報を活用した取組みを行うなど事故の未然防止に努められているので評価します。今後も事故、トラブル等の未然防止に係る取組みの充実・強化に努められることを期待します。</p> <p>(2) 旅客、他社の事故事例等</p> <p>旅客の声、他社の事故事例などの情報を集め、必要に応じて対応等を行われていることについて、評価します。</p>
4. 安全管理体制における取組み	<p>(1) 関係法令等の遵守の確保</p> <p>関係法令の遵守状況は、運行管理者や管理職による毎月の点呼状況、点検整備状況等の再確認により実施されており、また、安全運行に必要な情報の収集や周知については、バス協会等からの情報収集及び、収集した情報は点呼場への社内報の掲示等による周知により実施されています。今後も関係法令等の遵守の確保や安全運行に必要な情報の周知について取組まれることを期待します。</p>

項目別評価結果一覧

評価の項目	評 価 結 果
	<p>(2) 安全管理体制の構築・改善に必要な教育・訓練等</p> <p>【安全管理要員】</p> <p>代表者（経営者）、安全統括管理者等に対する運輸安全マネジメントの趣旨等の理解を深めるための教育・訓練を実施されています。今後も教育・訓練の充実・強化を図られることを期待します。 毎回(毎年)参加が望ましい</p> <p>【技能要員】</p> <p>運転者等の技能要員に対する必要な能力の習得及び獲得した技能の維持のための教育・訓練等は、教育・訓練・研修の計画に基づき、定期的 に実施されています。</p> <p>一方で、ベテラン運転者に対する定期的な実技訓練の実施に課題を感じていることも確認できました。</p> <p>今後は、例えば、運転者の特性や経験に応じた教育・訓練や外部講師による教育・訓練を定期的 に実施するなどし、教育・訓練の充実・強化に繋げられることを期待します。</p> <p>(3) 教育・訓練の実施状況を踏まえた見直し改善について</p> <p>教育・訓練の実施状況を踏まえた見直し改善を実施されています。今 後も取組みの継続・強化に努めることを期待します。</p>
5. 見直しと改善	<p>(1) マネジメントレビュー</p> <p>安全に関する目標の達成状況や安全管理の取組状況を年1回以上確認（総括）して、次の計画に反映する見直し改善を行われていることを評価します。今後も取組みを継続・強化されることを期待します。</p> <p>(2) 継続的改善</p> <p>安全に関する日々の取組みに問題があった場合、改善や対策等を講じる取組みについて、今後も継続・強化されることを期待します。</p>

(平成 28 年 1 月 25 日第 1 版)